

施策名：未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進

事業名	担当課・室名	ページ
災害ボランティアセンター運営支援事業	県民生活・男女共同参画課	1 / 3
クリーンロード支援事業	道路保全課	2 / 3
地域を担うNPO協働モデル創出事業	県民生活・男女共同参画課	3 / 3

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	災害ボランティアセンター運営支援事業		事業期間	平成25年度～平成 年度		政策区分	多様な県民活動の推進	
	総合評価			事業実施課(室)名	県民生活・男女共同参画課	施策区分	未来を担うNPO(NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等)の育成と協働の推進	
A		継続・見直し				評価者	県民生活・男女共同参画課長 後藤 素子	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	災害時の被災者への支援に取り組むNPO・ボランティアの活動を促進するため、災害ボランティアセンター設置・運営の中心となる頼れるリーダーのさらなる育成、センターの活動を支える体制づくりとスタッフの育成、被災者ニーズを把握しボランティアへつなぐ業務の効率化が課題となっている。	事業の目的	災害ボランティアセンターを設置・運営する人材を育成し、県内で大規模災害が起きた際の速やかなセンター設置と円滑な運営を実現するため、多様な機関・団体が連携できる体制作り、生活復旧支援の視点と技能を持ったリーダーや運営を支えるスタッフの育成、効率的な運営を可能にするシステムの構築を支援する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①災害ボランティアセンター運営スタッフ育成の支援 災害ボランティアセンターをスタッフとして支える地域人材を育成	①	1,544	総コスト	10,923	6,520	16,918
②災害ボランティアセンター運営現地研修の実施 災害ボランティアセンター運営リーダーを被災地に派遣しノウハウを習得	②	506	事業費	5,923	2,520	10,918
③市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設立支援 災害ボランティアセンターの円滑な運営のため、専門家団体や地域住民による協議会を設置	③	475	(うち一般財源)	59	24	42
	④		人件費	5,000	4,000	6,000
	計	2,525	職員数(人)	0.50	0.40	0.60

活動指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	災害ボランティアセンター運営スタッフ研修開催回数(回)		目標値	12	6	7				61%	市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設立(市町村)		目標値	3	2		
		実績値	12	6							実績値	3	1				
		達成率	100.0%	100.0%							達成率	100.0%	50.0%				
災害ボランティアセンター運営現地研修参加者数(人)		目標値	5	5	5			20%			目標値						
		実績値	5	15							実績値						
		達成率	100.0%	300.0%							達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	災害ボランティアセンター運営スタッフ研修受講者数(人)		目標値	230	250	300			
		実績値	234	417					
		達成率	101.7%	166.8%					

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>頼れる運営リーダーの増員</li> <li>長期的支援を見通せる運営リーダーの育成</li> <li>被災者支援を支える地域団体や企業のネットワークづくり</li> <li>センター運営を支える人員の養成</li> <li>被災者ニーズ把握システムの構築</li> </ul>	今後の事業の方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>運営リーダーの増員と長期にわたる生活復旧支援活動に備えた研修の実施</li> <li>地域で連携した被災者支援を行うためのネットワークづくり</li> <li>運営スタッフの育成</li> <li>被災者ニーズを効率的に把握しボランティアに繋ぐシステムの構築</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	クリーンロード支援事業	事業期間	平成25年度～平成 年度	政策区分	多様な県民活動の推進	
				施策区分	未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進	
総合評価	<b>A</b>	継続・見直し	事業実施課（室）名	道路保全課	評価者	道路保全課長 和田 敏哉

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	美しく快適な県土づくりとして、良好な道路環境を保全するため、県民一人ひとりの自発的な環境保全活動を推進することが重要である。	事業の目的	地域で道路美化活動を行う自治会やボランティア団体等を支援することで、良好な道路環境を保全し、地域の道路に対する愛護気運の醸成を目的とする。また、この事業を継続していくことで官民協働による効果的な道路維持管理体制の確立を図る。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①美化事業（草刈り活動推進） 草刈り活動に対する謝礼（140団体） 草刈り活動者に対する保険加入（延べ6,571人） 3年継続団体への表彰（77団体） ②支援事業（花植え等支援） 花植え等活動の団体への支援（23団体1,346人）	①	14,810	総コスト	17,911	17,998	18,000
	②	1,190	事業費	15,911	15,998	16,000
	③		（うち一般財源）	15,911	15,998	16,000
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計	16,000	職員数（人）	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名（単位）	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成（年度）	評価割合	指標名（単位）	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成（年度）	評価割合	評価
			目標値	実績値	達成率					目標値	実績値	達成率			
美化事業 ボランティア活動参加人数（人）	ボランティア活動参加人数（人）	目標値	3,700	3,700	3,700		93%		目標値						a
		実績値	3,777	3,690											
		達成率	102.1%	99.7%											
	支援事業 ボランティア活動参加人数（人）	目標値	1,300	1,300	1,300		7%		目標値						
		実績値	1,307	1,346											
		達成率	100.5%	103.5%											

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名（単位）	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成（年度）	評価	事業の成果
草刈り面積（㎡）	草刈り面積（㎡）	目標値	1,315,000	1,315,000	1,315,000		a	「美化事業」・「支援事業」とともに概ね目標を達成している。草刈り面積も前年度を上回り、目標を達成する結果となっており、官民協働による道路の美化が実現できた。
		実績値	1,359,107	1,369,898				
		達成率	103.4%	104.2%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	・新規参加団体の掘り起こし	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
		今後の事業方針	・効果的な道路維持管理体制の確立に向け、より多くの団体に参加してもらうための広報活動の強化（県庁HPへの掲載、ラジオスポット放送、市町村への事業紹介依頼等）			

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	地域を担うNPO協働モデル創出事業	事業期間	平成27年度～平成31年度	政策区分	多様な県民活動の推進
総合評価	<b>A</b>	事業実施課(室)名	県民生活・男女共同参画課	施策区分	未来を担うNPO(NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等)の育成と協働の推進
	<b>継続・見直し</b>			評価者	県民生活・男女共同参画課長 後藤 素子

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民ニーズ、価値観が多様化・高度化し、人口減少、少子高齢化等により、地域での支え合いが減少している。公共的な課題を継続的に解決するため、NPO等と連携した社会全体での取組が不足している。	事業の目的	NPO、行政、企業等による多様な主体との協働を推進し、地域課題の解決に継続的に取り組むモデルを創出するとともに、NPOが公共の担い手として認知されることにより、NPOの活性化を目指す。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①協働モデル事業の創出 NPO・行政・地元団体等が実行委員会を組織して地域の課題を継続的に解決する事業を協働のモデルとして実施 (県提示課題に対する事業提案とNPO独自事業提案の2種)	①	17,004	総コスト	12,781	26,145	43,126
	②		事業費	4,781	13,145	25,126
	③		(うち一般財源)	4,781	13,145	25,126
	④		人件費	8,000	13,000	18,000
	計	17,004	職員数(人)	0.80	1.30	1.80

活動指標	指標名(単位)				達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)				達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	評価
	目標値	実績値	達成率	目標値							実績値	達成率									
提案公募に対する応募件数(件)	目標値	10	10	10	0	100%					目標値									<b>a</b>	
	実績値	13	18				実績値														
	達成率	130.0%	180.0%				達成率														

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)				達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果	
	目標値	4	8	12								12
	実績値	4	8									
モデルの構築数(件)	達成率	100.0%	100.0%			<b>a</b>	提案書の作成からNPOとともに実施したため、モデル団体のみならず応募NPOの提案力の底上げとなった。					

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続性のある事業モデル構築に向けた工夫</li> <li>事業による活動への県民理解と参加の促進</li> </ul>	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続・見直し <input type="checkbox"/> 例外的に継続 <input type="checkbox"/> 廃止
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度及び平成28年度採択事業について9月に中間報告会を実施し、事業を検証</li> <li>県政広報媒体を活用した広報活動を強化し、NPO施策に対する県民理解と参加を促進</li> <li>様々なNPOへ応募を促し、提案書作成指導・県との協働を通じてNPO活動を活性化</li> </ul>